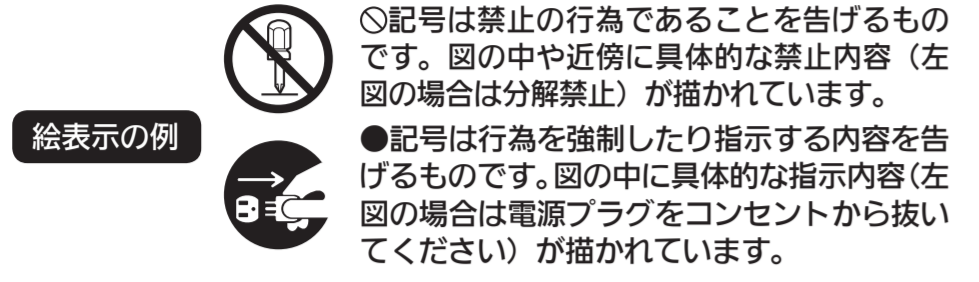
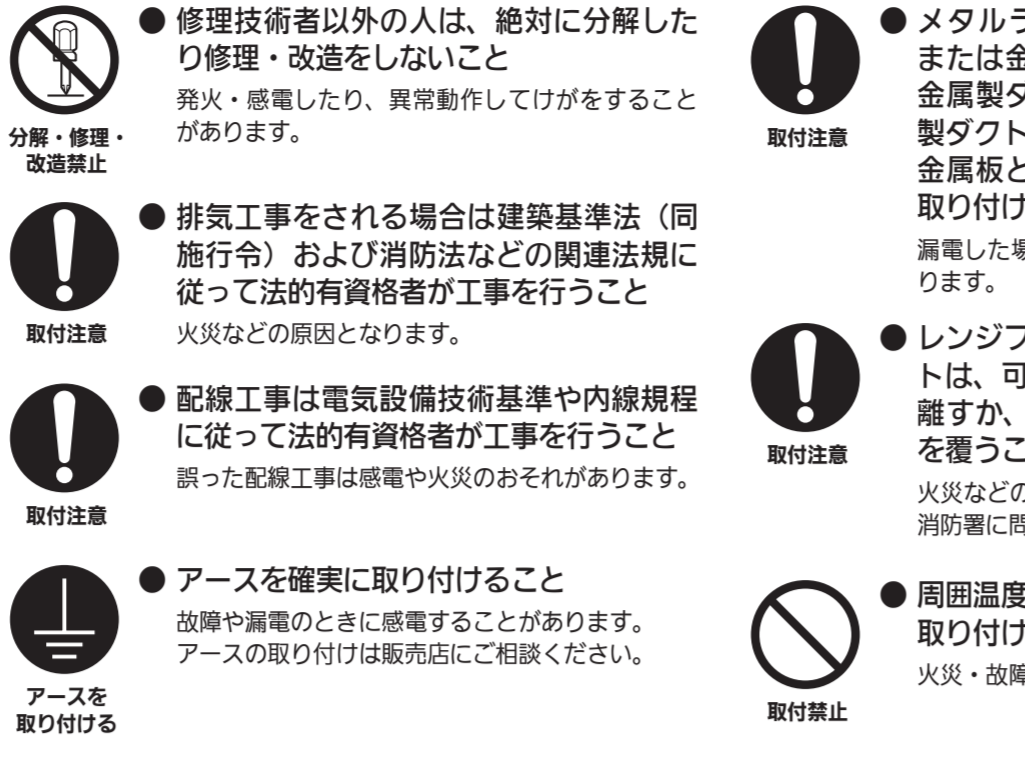


安全上の注意

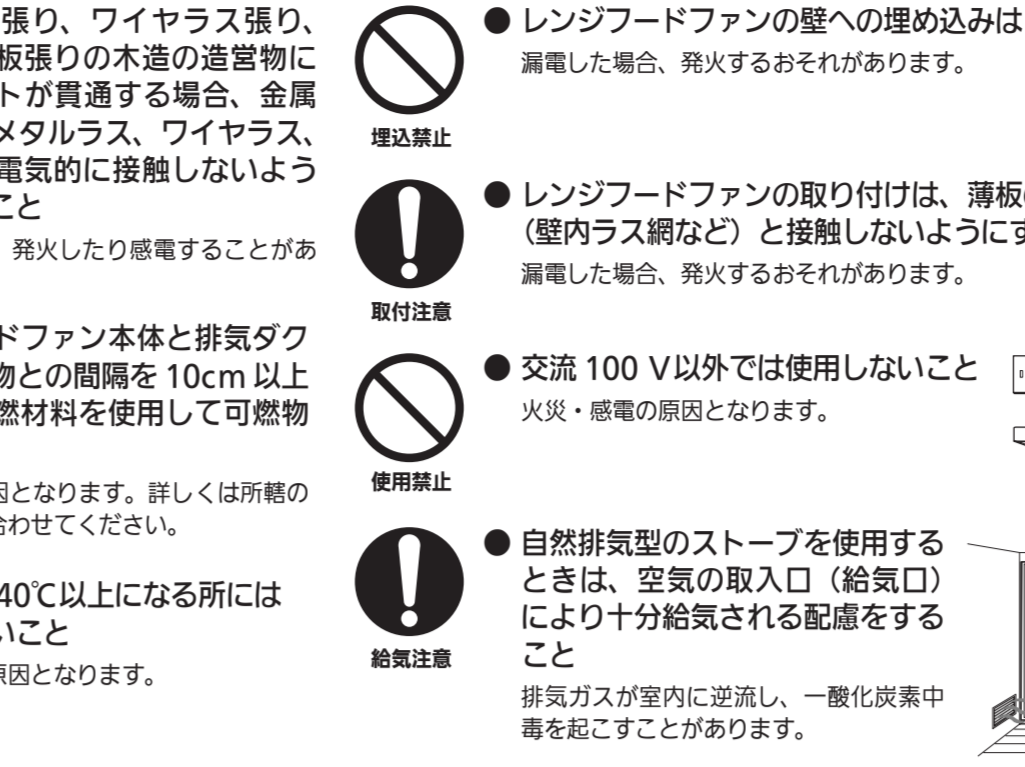
● 取り付けの前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けを行ってください。
● ここに記載した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他人への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをしないと生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
注意：人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容。
お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



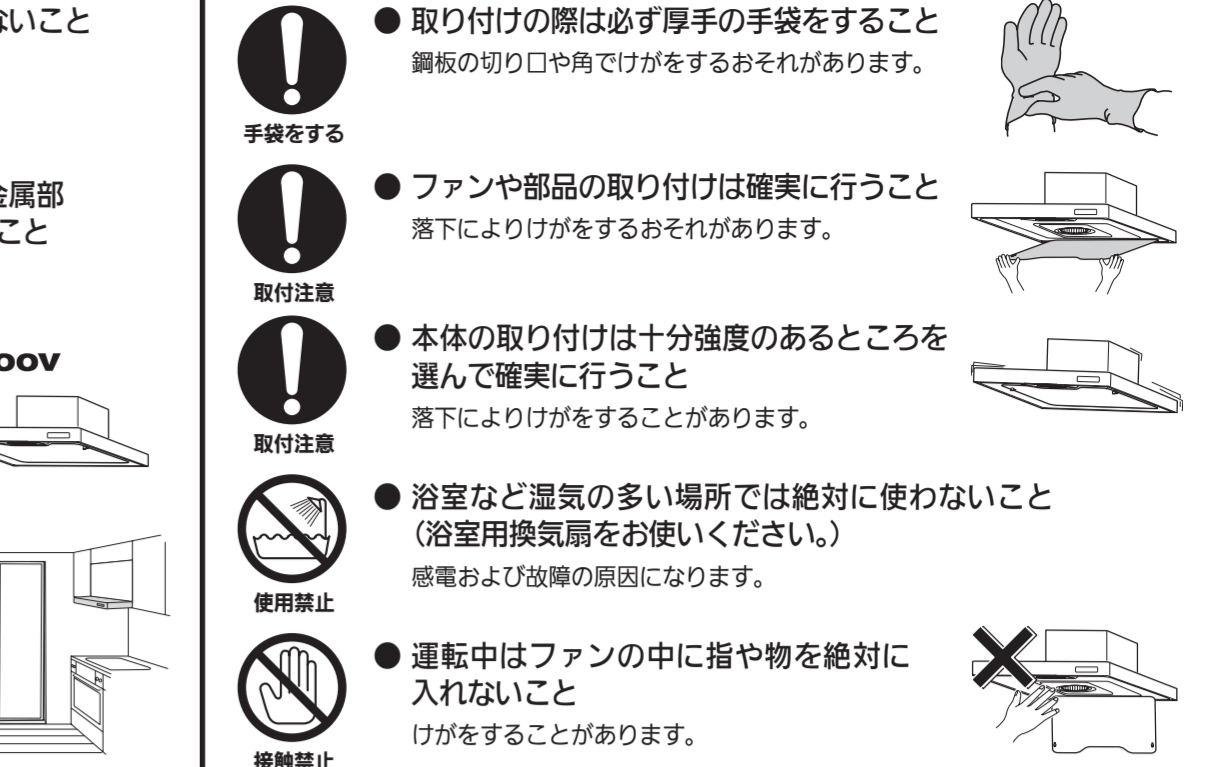
警告
● 修理技術者以外の人、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
● 排気工事をされる場合は建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事を行うこと
● 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事を行うこと
● アースを確実に取り付けること
● 周囲温度が40℃以上になる所には取り付けないこと



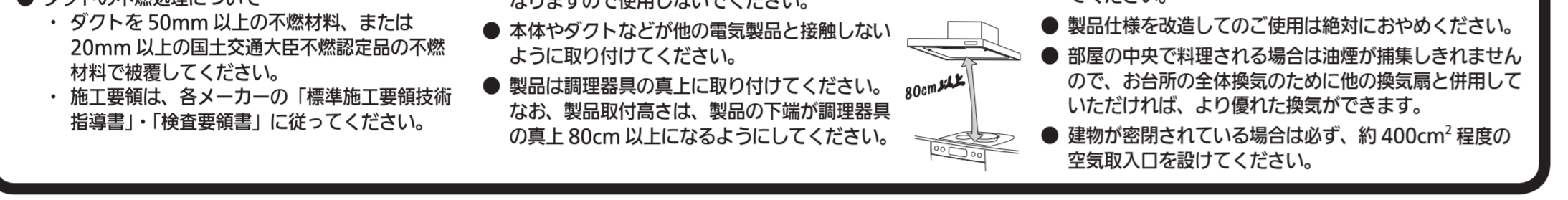
注意
● レンジフードファンの壁への埋め込みはしないこと
● レンジフードファンの取り付けは、薄板の金属部（壁内ラッパなど）と接触しないようにすること
● 交流100V以外では使用しないこと
● 自然排気型のストープを使用するときは、空気の取入口（給気口）により十分給気される配慮をすること



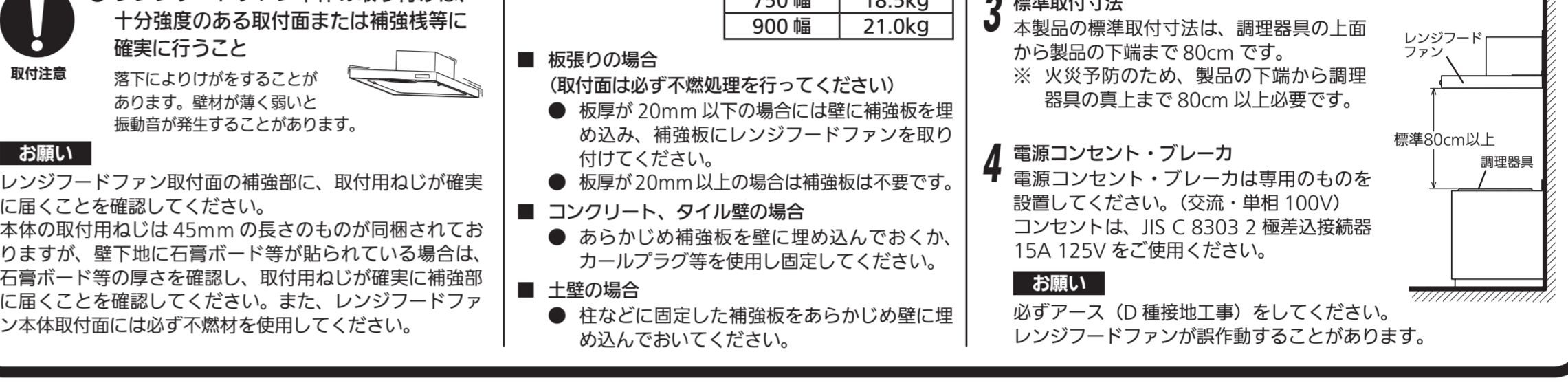
注意
● 取り付けの際は必ず厚手の手袋をすること
● ファンや部品の取り付けは確実にすること
● 本体の取り付けは十分強度のあるところを選んで確実にすること
● 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと
● 運転中はファンの中に指や物を絶対に入れないこと



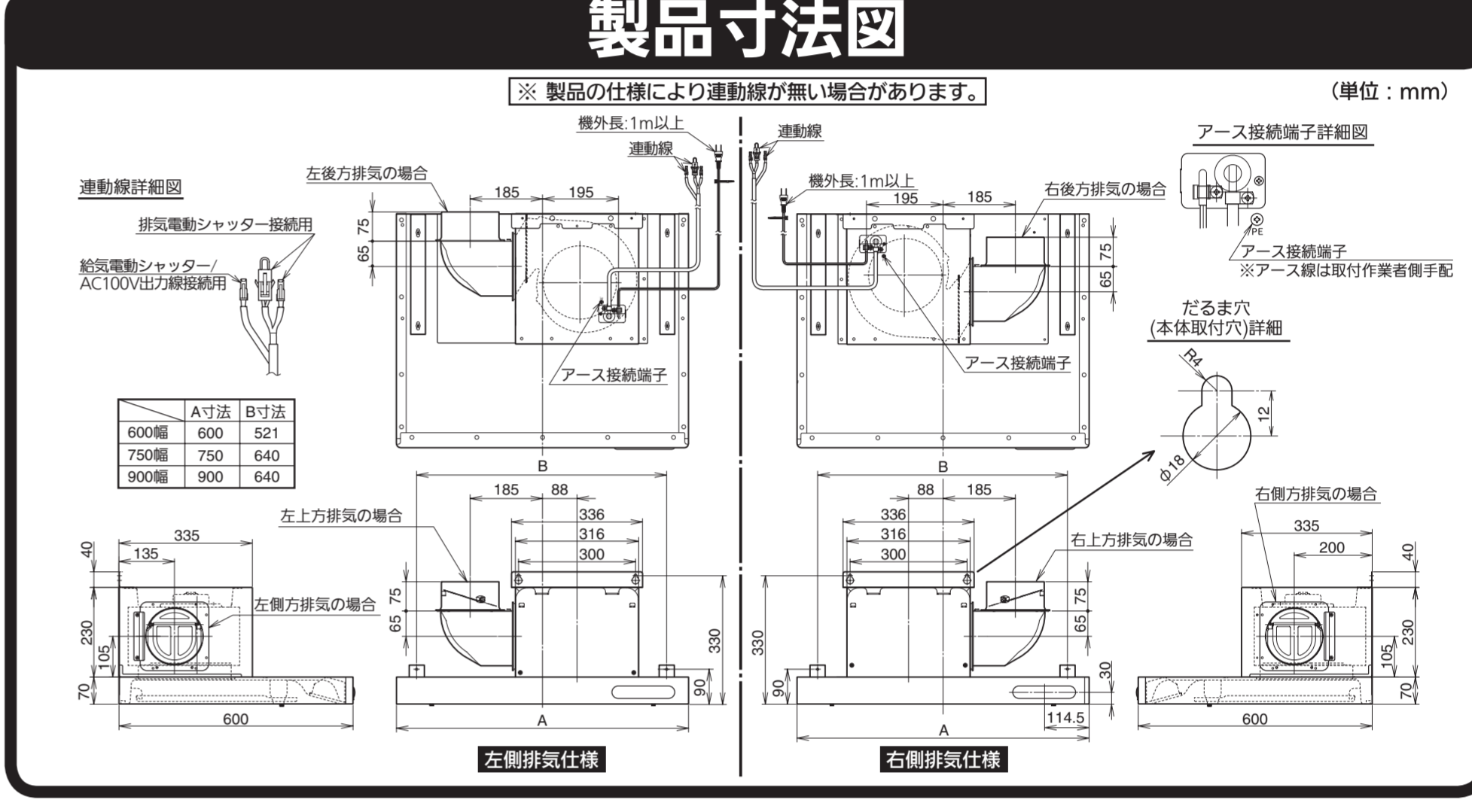
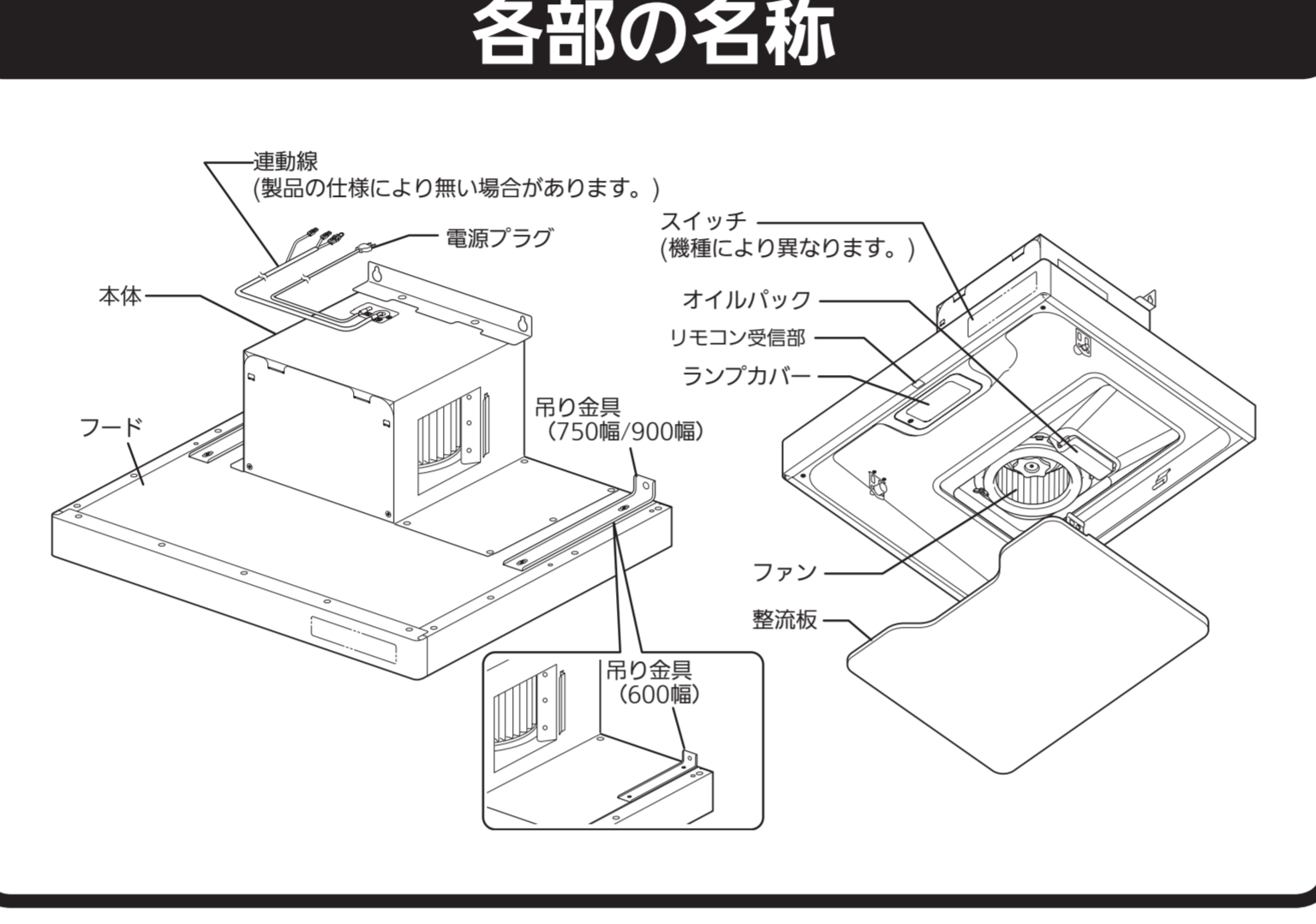
取り付け上のお願
● 下記は「建設工事」に区分され、関連する法令、規定に従って法的有資格者が行う必要があります。
● 大工工事（設置のための下地工事等）
● 配線工事（コンセントの設置、コンセント・コネクタ利用以外の配線接続等）
● 管工事（ダクト配管およびレンジフードファンからのダクト接続等）
● ダクトの不燃処理について
● 製品の幅はレンジフードファンの幅以内のものをご使用ください。
● 調理器具の幅はレンジフードファンの幅以内のものをご使用ください。
● レンジフードファン下部には、湯沸器を絶対に取り付けしないでください。
● 電源コード等の各種コード類は、吊るなどして、レンジフードファン本体や排気ダクト等に接触しないようにしてください。
● 部品の中央で料理される場合は油煙が堆積しきれませんが、お台所の全体換気のために他の換気扇と併用していただければ、より優れた換気ができます。
● 建物が密閉されている場合は必ず、約400cm³程度の空気取入口を設けてください。



取り付け前の調査と準備
1 取付面の強度確認
2 別売部品の準備
3 標準取付方法
4 電源コンセント・ブレーカ
● コンセントは、JIS C 8303 2種差込接続器 15A 125Vをご使用ください。
● 必ずアース（D種接地工事）をしてください。レンジフードファンが誤作動することがあります。



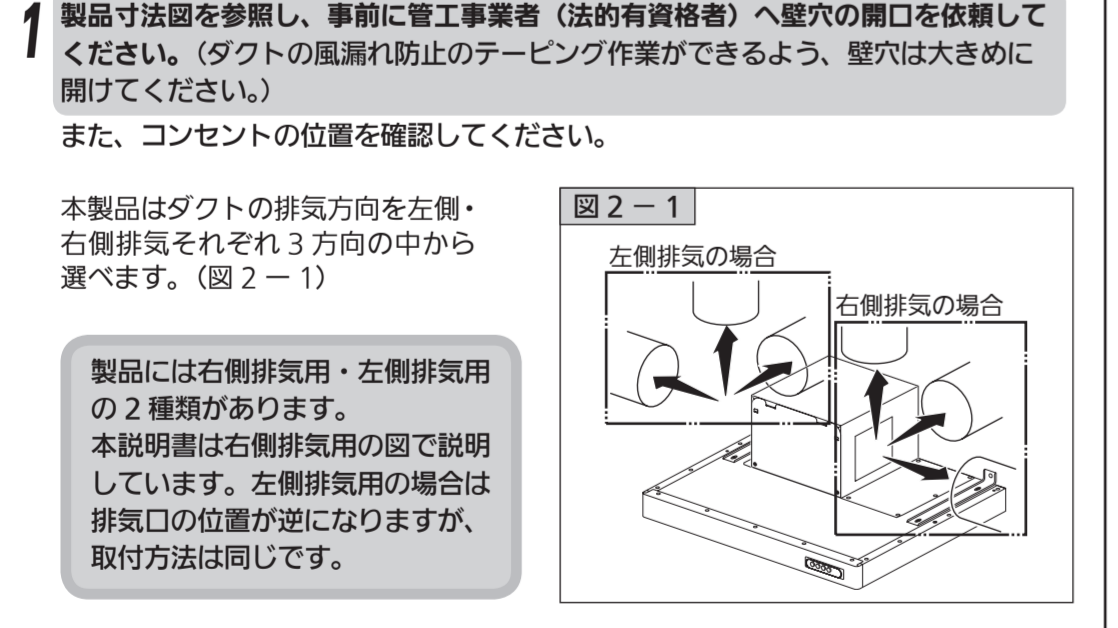
付属品
● 座付ねじ (φ5.1×45) 4本
● 段付ねじ (M4×12) 4本
● ソフトテープ 1本
● 排気口 1個
● L形ダクト 1個



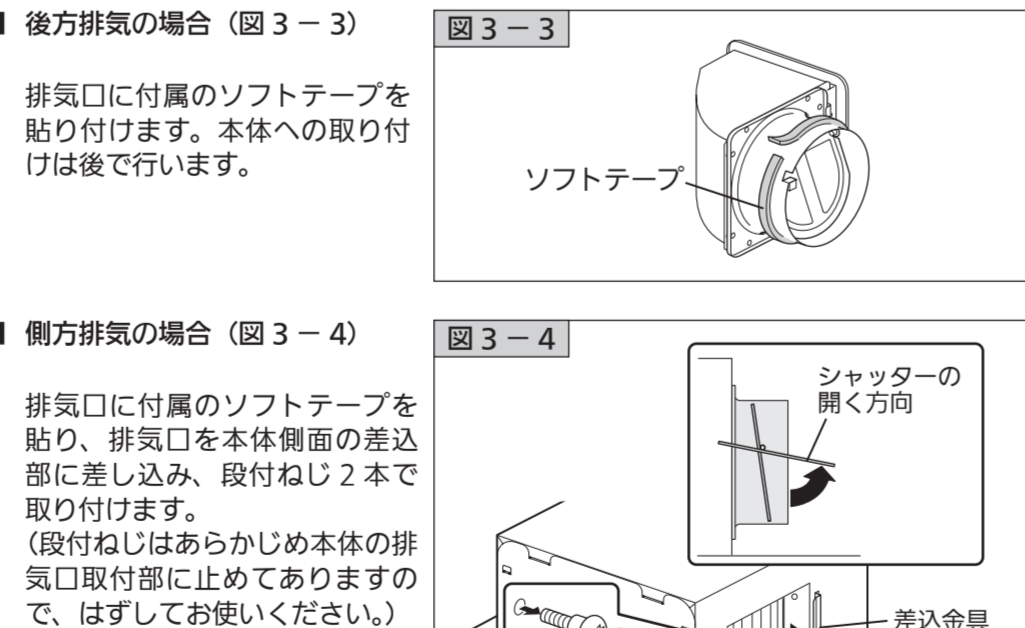
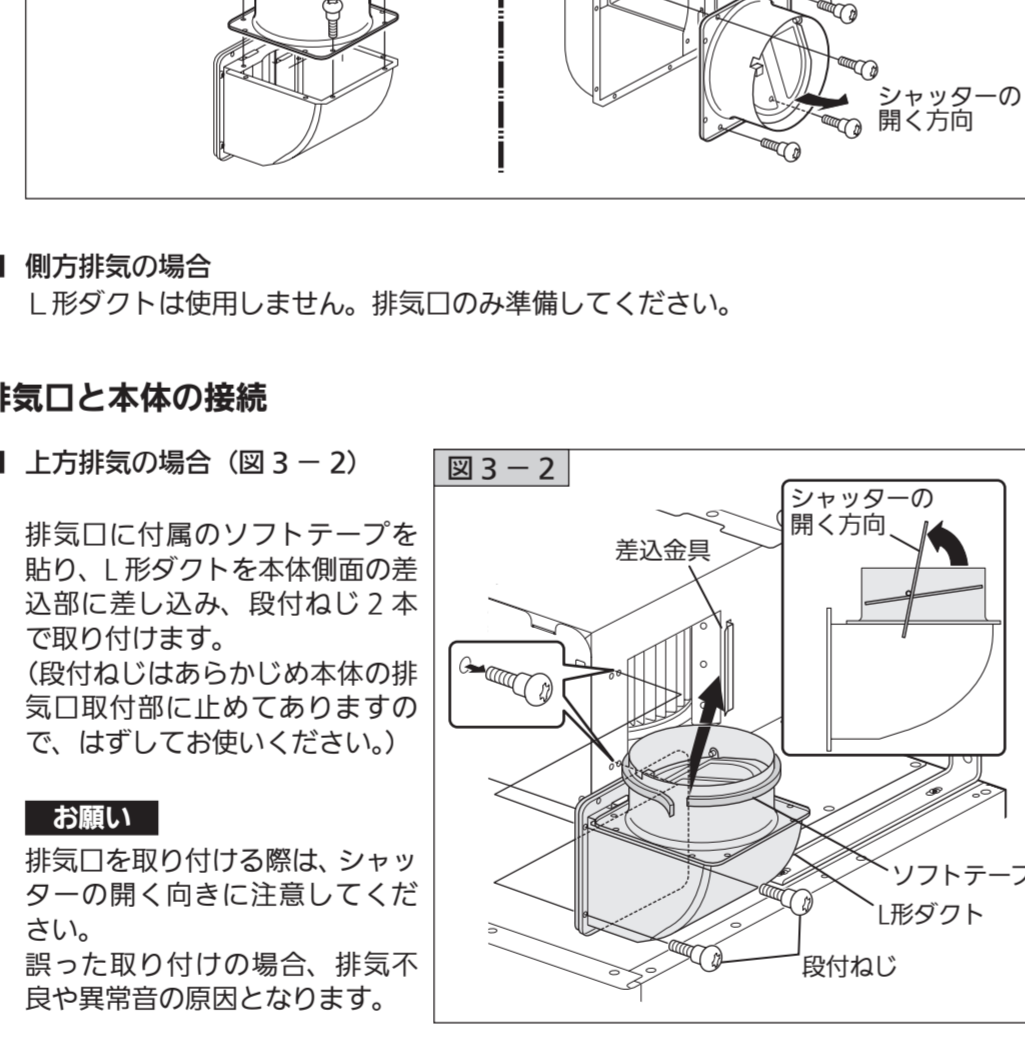
取り付けかた

1. 付属品の確認
注意
● 製品取り扱いの際は、必ず厚手の手袋をすること
● 製品を取り扱う際は、必ず厚手の手袋をすること
● 梱包箱から排気口、ねじ等の付属品を取り出し、付属品一覧により不足がないか確認してください。

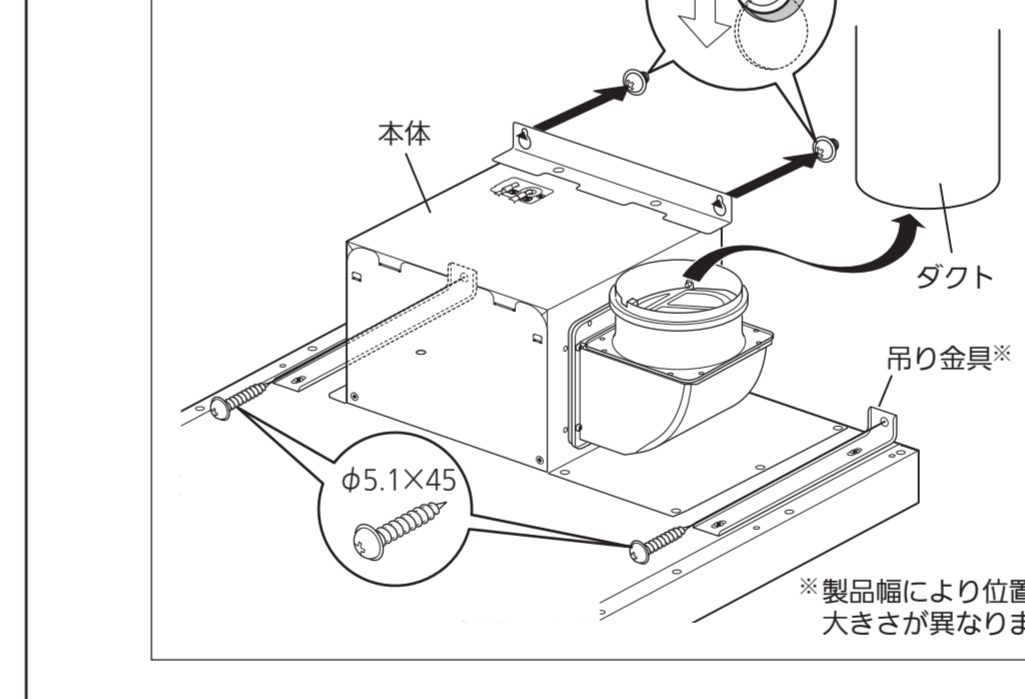
2. 排気方向の決定
警告
● メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないように取り付けると
● 排気工事をされる場合は、建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事を行うこと
● 周囲温度が40℃以上になる所には取り付けないこと
● 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと
● 感電および故障の原因になります（浴室用換気扇をお使いください）。



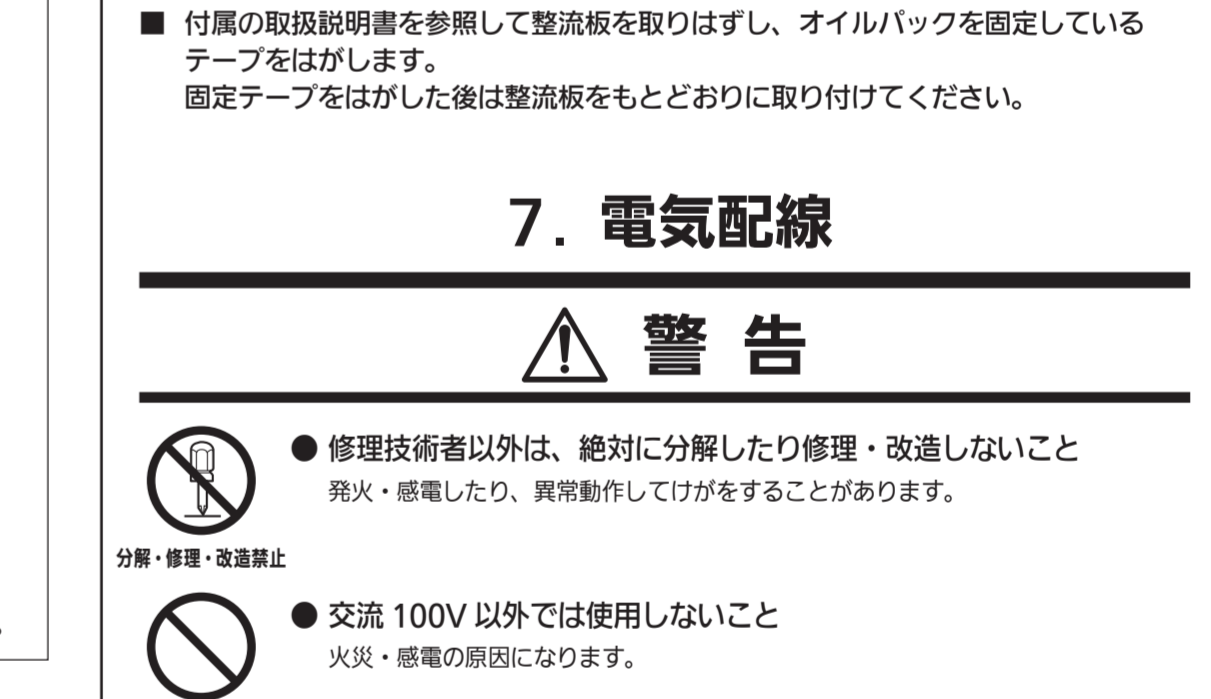
3. 排気用部品の準備
● 排気口とL形ダクトの接続
● 上方排気・後方排気の場合
● 側方排気の場合
● 排気口と本体の接続
● 上方排気の場合
● 後方排気の場合
● 側方排気の場合



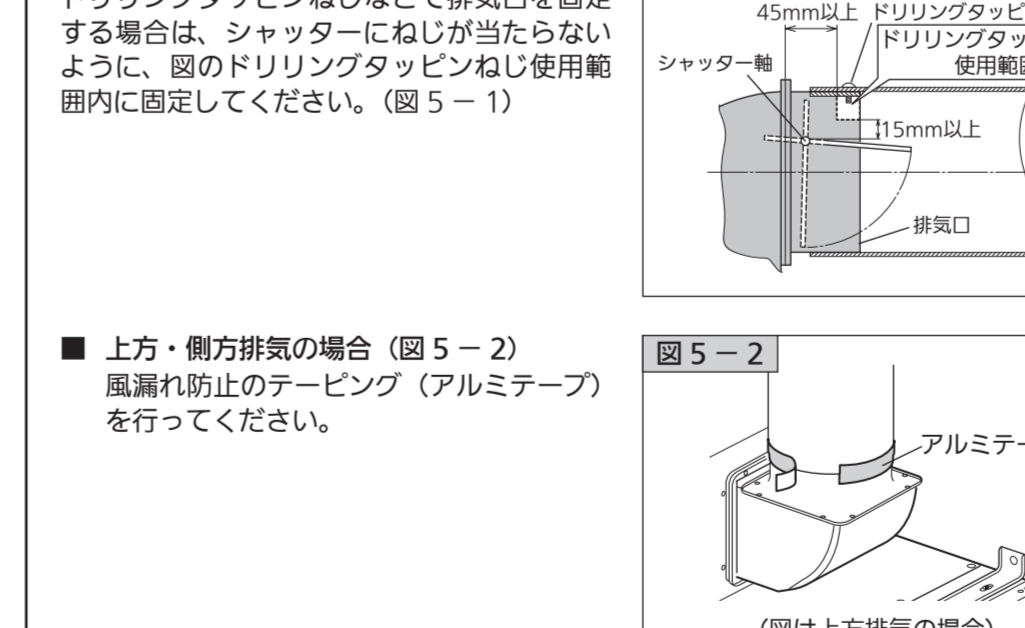
1 本体だるま穴用座付ねじ2本をねじ込みます。
2 本体を引っ掛けます。
3 上方排気・側方排気の場合は、ダクトに排気口を差し込みながら本体を取り付けてください。



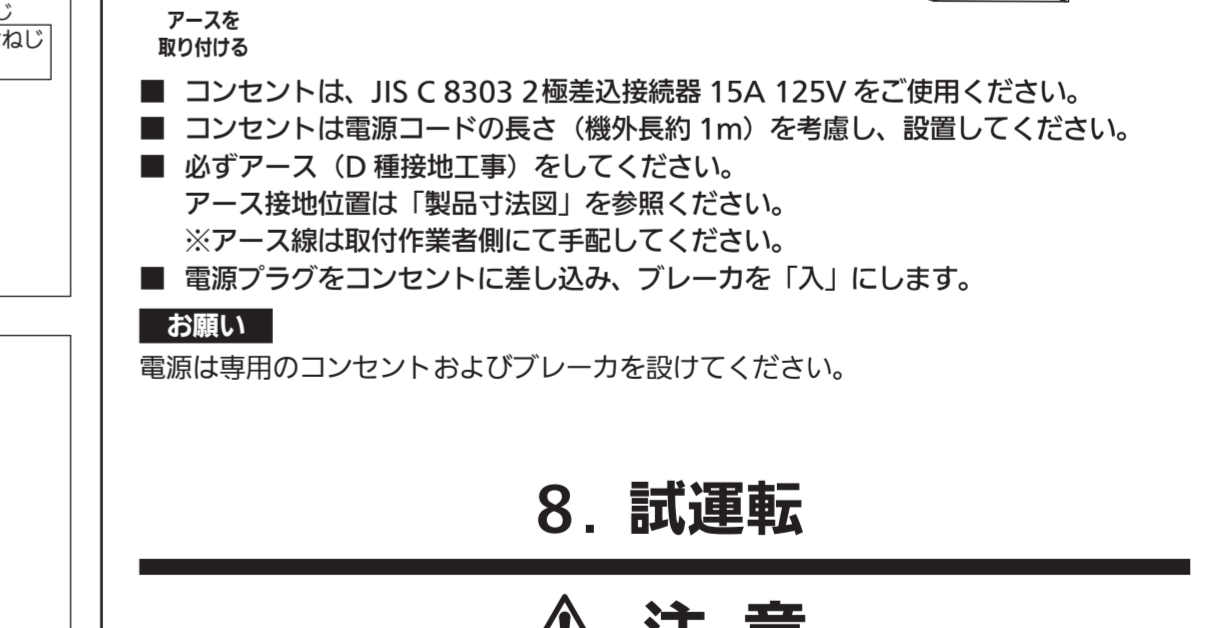
6. 取扱説明書およびオイルパック固定テープの取りはずし
● 保護用クッション材をいったん取りはずし、整流板に貼り付けてある取扱説明書をはずします。
● 付属の取扱説明書を参照して整流板を取りはずし、オイルパックを固定しているテープをはがします。
● 固定テープをはがした後は整流板をもとどりに取り付けしてください。



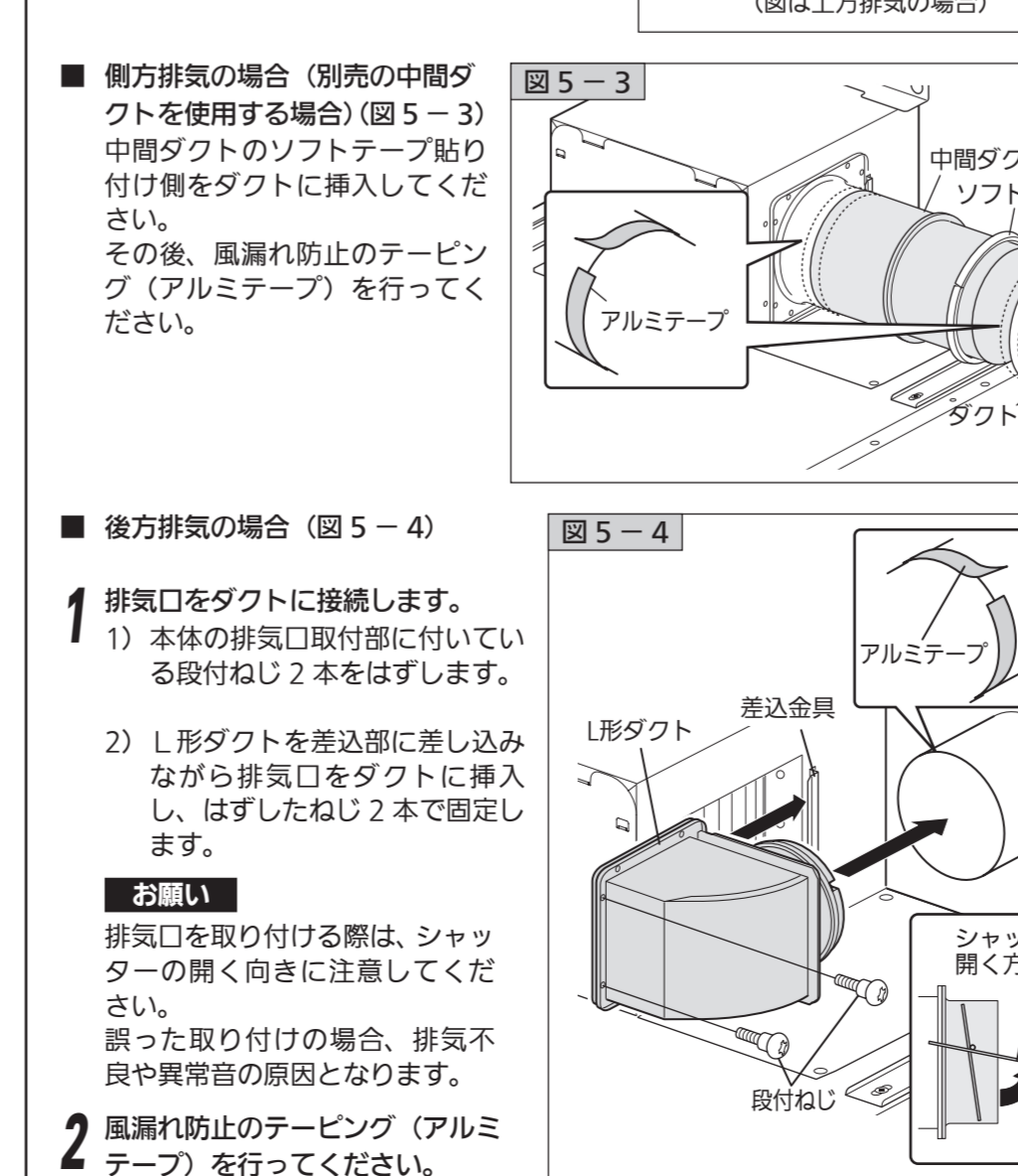
5. ダクトと排気用部品の接続
● 排気口設置面の漏風確認のお願い
● 排気口とダクトを接続する際に、無理にダクトにレンジフードファンの排気口を接続しようとすると、排気口と排気口の設置面（フード天面等）が変形し、排気漏れが発生してしまう場合があります。



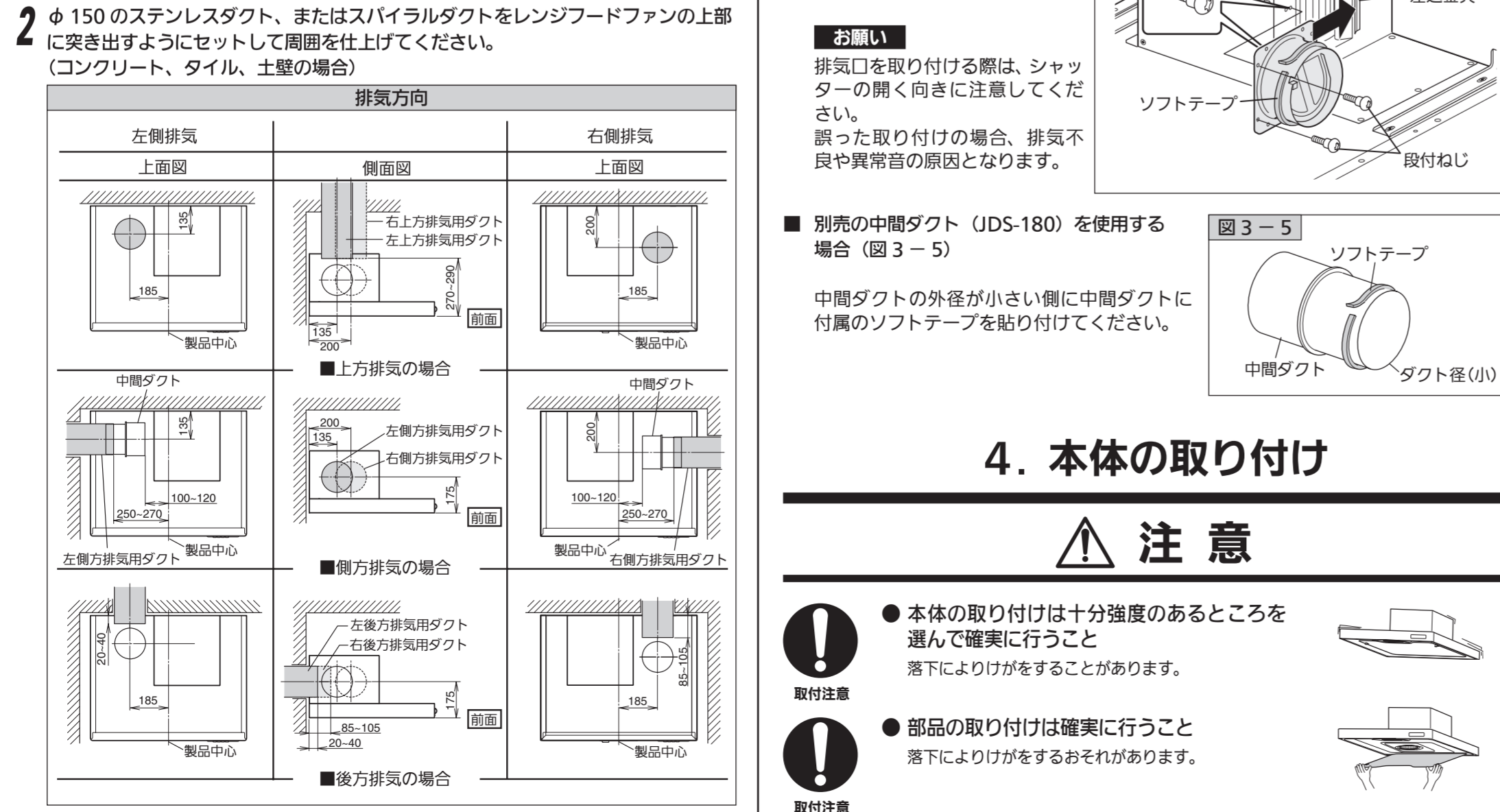
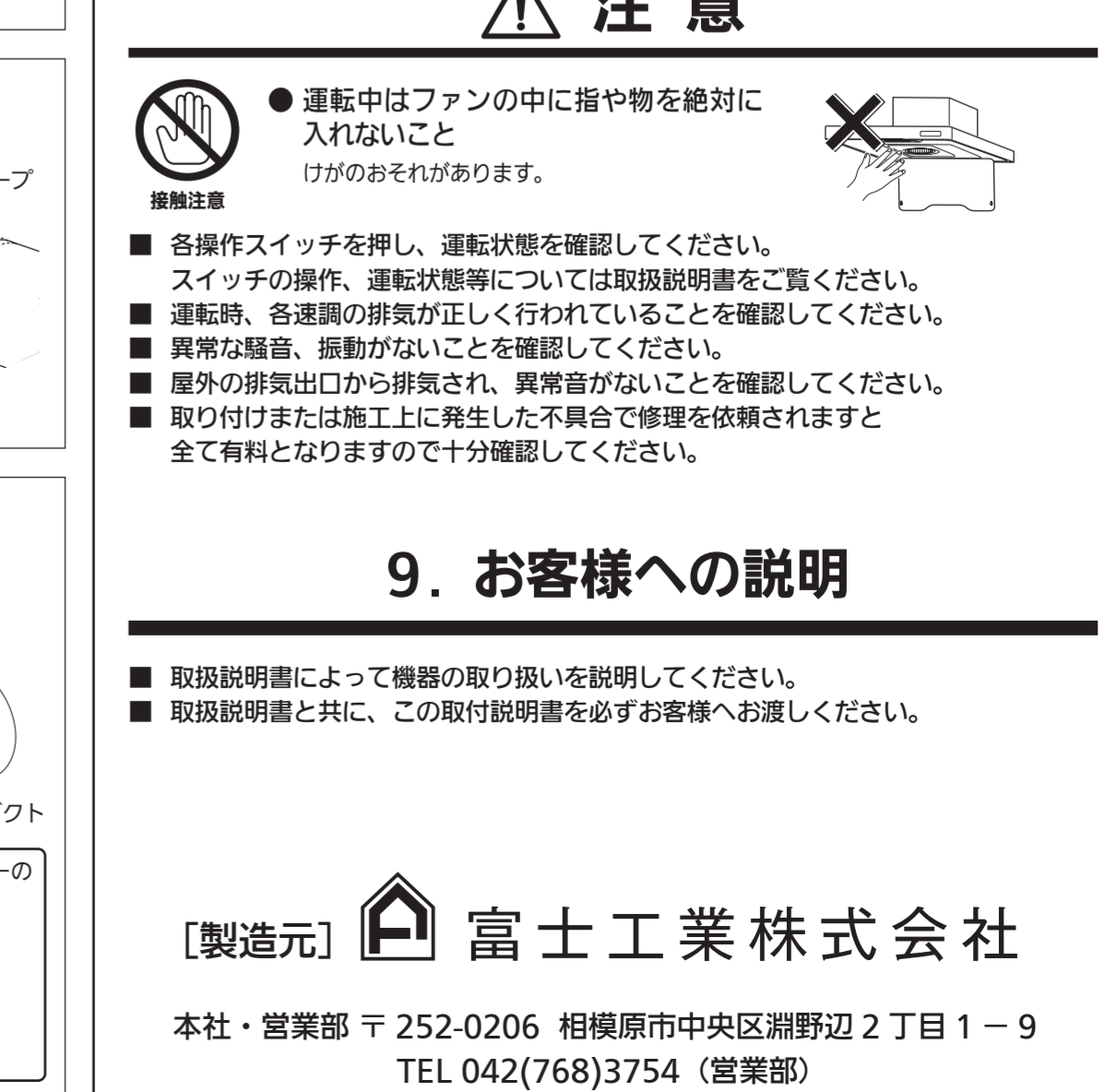
7. 電気配線
警告
● 修理技術者以外の人、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
● 交流100V以外では使用しないこと
● 電気配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事を行うこと
● アースを確実に取り付けること



4. 本体の取り付け
注意
● 本体の取り付けは十分強度のあるところを選んで確実にすること
● 部品を取り付けは確実にすること



8. 試運転
注意
● 運転中はファンの中に指や物を絶対に入れないこと
● 各操作スイッチを押す、運転状態を確認してください。
● スイッチの操作、運転状態等については取扱説明書をよく読んでください。
● 運転時、各連動の排気が正しく行われていることを確認してください。
● 異常な騒音、振動がないことを確認してください。
● 屋外の排気出口から排気され、異常音がないことを確認してください。
● 取り付けまたは施工に発生した不具合で修理を依頼されますと全て有料となりますので十分確認してください。



取付補足説明書

本製品は、付属の「取付説明書」に対して、以下の点が異なります。
「取付説明書」と併せて、この「取付補足説明書」をお読みください。

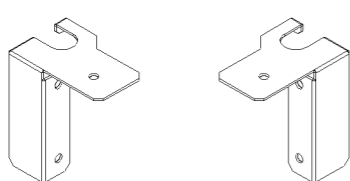

■ 取り付け前の調査と準備

本製品は、本体前側を天井から吊れる構造となっております。

吊りボルトの設置を次の通り行ってください。
2本の吊りボルトを製品寸法図を参照して天井部梁に取り付けます。
*吊りボルトはM10（市販品）を使用して下さい。
*吊りボルトは耐荷重200kg/本となるように取り付けてください。

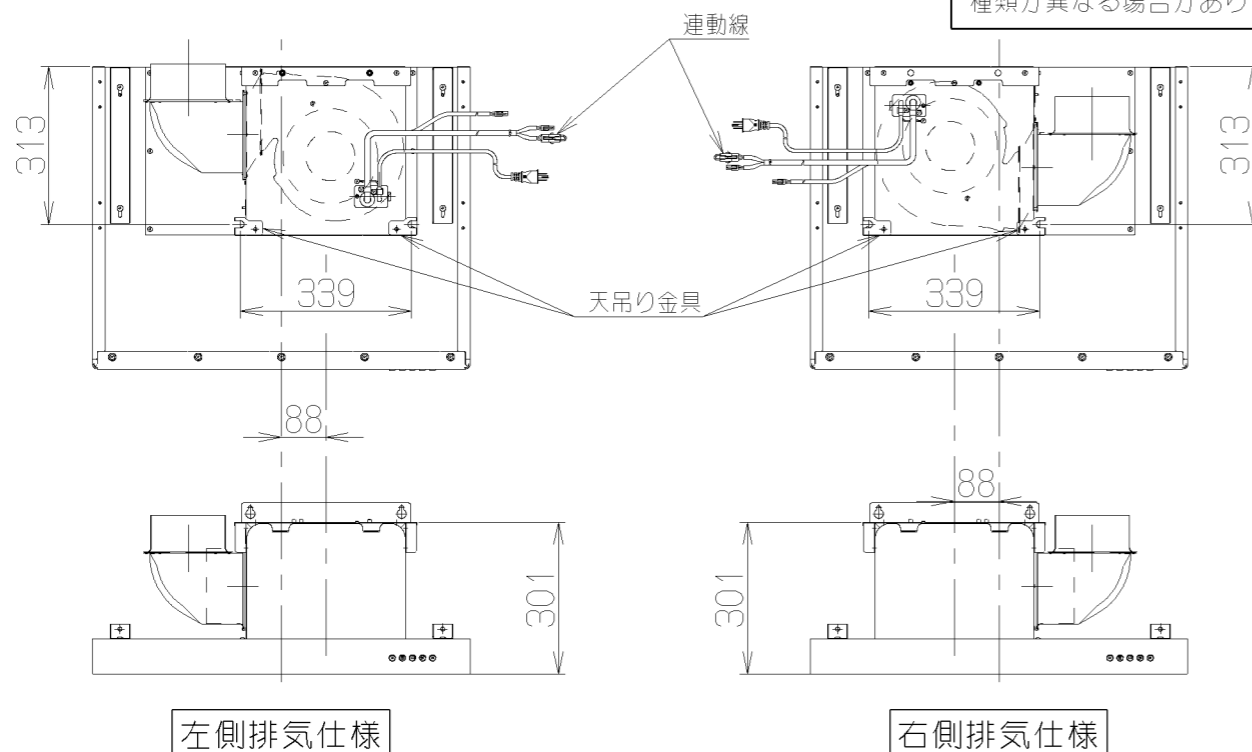
■ 付属品

次の部品が取付説明書の付属品に追加されます。

品名	天吊り金具	取付ねじ
略図	 左天井用1個 右天井用1個	 (M4×8) 6本

■ 製品寸法図

本製品の製品寸法図は、天吊り金具があること以外は付属の「取付説明書」と同一です。



製品の仕様により、運動線の有無・種類が異なる場合があります。

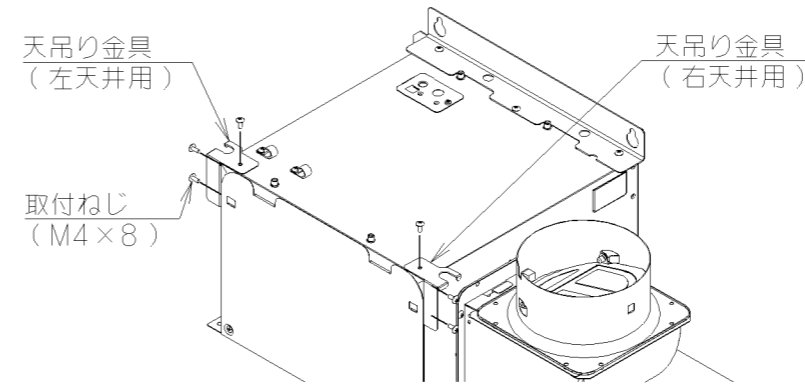
(単位: mm)

■ 本体の取り付け前準備

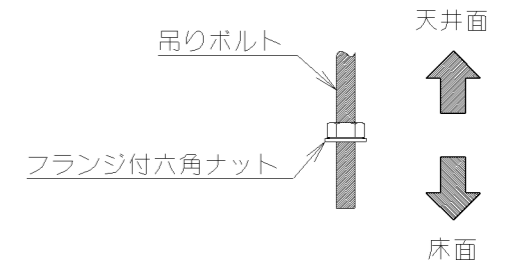
本製品は、本体の取り付け作業前に、次の天吊り用準備が必要となります。

(1) 天吊り金具を本体に取り付けます。

(2) 吊りボルトにフランジ付き六角ナットを取り付けます。



吊りボルトの上側のフランジ付き六角ナットの位置（天吊り金具取り付け位置）は、製品寸法図を参考にあらかじめセットしておくことで後作業が容易になります。



■ 本体の取り付け

本体の取り付け作業は、次の通り行ってください。

(1) 本体の吊り穴に座付ねじ2本をねじ込みます。

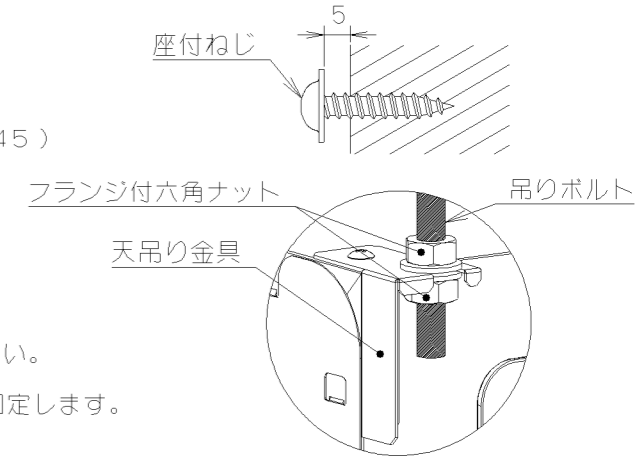
製品寸法図を参照し、吊り穴位置（2ヶ所）に座付ねじ（φ5.1×45）2本をねじ込み、壁面との隙間5mmまで締め付けてください。

(2) 本体を引っ掛け固定します。

吊りボルトの先端を天吊り金具に通しながら、座付ねじに本体の吊り穴を引っ掛けした後、しっかり締め付けてください。

お願い 上方排気・側方排気の場合は、ダクトに排気口を差し込みながら本体を取り付けてください。

(3) フランジ付き六角ナットで天吊り金具をしっかりとお締め付けて固定します。



■ 電源配線

電源接続方式または給気ダンパー出力方式が端子台仕様の場合、

配線工事は次の通り行ってください。（電源接続方式が端子台の場合は、コンセントの設置は必要ありません。）

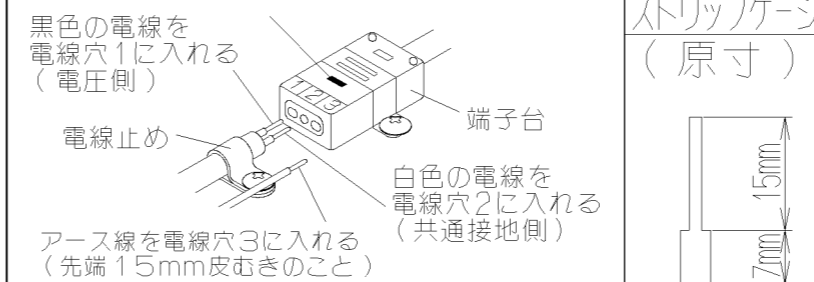
ご注意

- 必ず分電盤のブレーカーを切って作業してください。切らずに行くと感電やケガのおそれがあります。
- 端子台への接続電線は、VVVFφ1.6~2.0の単線を使用し、より線は使用しないでください。
- 接続を間違えないようにしてください。ショートするおそれがあります。
- 電線挿入時は確実に差し込んでください。挿入が不十分な場合、端子部が過熱し火災のおそれがあります。
- 電線の充電部は必ず絶縁処理をしてください。感電のおそれがあります。
- 必ずアース（D種接地工事）をしてください。
- *アース線は配線工事側にて手配し、電源端子台の電線穴3に取り付けてください。

＜電源用端子の接続方法＞

- 電線被覆2本をストリッパゲージに合わせておく。
- 端子台の電線穴に芯線を2本同時に奥まで差し込む。
*下図を参照し、電圧側線と共通接地側線、アース線の差込位置をご確認の上差し込んでください。
*差し込みが止まるまで挿入して下さい。
- 充電部の露出がないことを確認し、電線止めにて電線を固定する。
- アース線を先端15mm皮むきし、電線穴3に差し込む。

*電線ははずすときはマイナスドライバーで押しながら電線を引き抜く。



＜給気ダンパー用端子の接続方法＞

- 電線被覆2本をストリッパゲージに合わせておく。
- 電線穴に芯線を2本同時に奥まで差し込む。（表示棒が下がることを確認してください）
- 充電部の露出がないことを確認し、電線止めにて電線を固定する。

*電線ははずすときはマイナスドライバーなどで押しながら電線を引き抜く。

